

R7.10

舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★

学芸員が選ぶ
今月の一品



総高71.6cm
上幅17.6cm



※井文庫を楽しむ

ミュージアム
トーク

10/12 (日)
13:30~14:30

あずまにしき ちゅうやくらべ

「東錦昼夜競」など
展示室にて実施

★参加費無料

★申込は郷土資料館 (75-8836) へ

舞鶴市指定文化財

かわなべ はちまん じんじゃ むなふだ

「河辺八幡神社の棟札」

秋は祭り！今月の一品は河辺八幡神社の棟札です。

河辺八幡神社は大浦地区の河辺谷6地区の総鎮守です。今年は10月5日の日曜日に例祭が行われ、鉦の舞、獅子舞、太鼓の舞、ヒザズリといった芸能が奉納されます。これらは中世（鎌倉～戦国時代）の祭礼芸能が受け継がれたもので貴重であるとして、京都府の登録無形民俗文化財となっています。

棟札とは神社などの建物を新しく建てたときや修復したときに年月日や施主、工事に携わった職人・技術者などを記して柱や屋根裏に打ちつけた木札のことです。河辺八幡神社には、正応4年（1291）から天保4年（1833）までの16枚の棟札が残されていて、中世にさかのぼる棟札は珍しく貴重です。16枚すべてが舞鶴市の指定文化財になっています。

今月はこの中から応仁3年（1469）の棟札を展示します。この棟札の大きさは総高71.6cm上幅17.6cm。右下隅が欠けているのは物満つれば魔が多いという考え方からわざと欠けさせたそうですよ。

河辺八幡神社のお祭りといえば3年に1度の**大祭**で、次回は令和8年の予定です。こちらも京都府の登録無形民俗文化財となっています。

とちお かわべはら むるじ かわべゆり にしや かわべなか

★河辺谷6地区 栃尾・河辺原・室牛・河辺由里・西屋・河辺中の6地区のこと

★例祭 河辺八幡神社に宮座の人たち（宮講）が鉦の舞や獅子舞、太鼓の舞、ヒザズリを奉納する
ほこ
ふりもの かぐら さんばそう

★大祭 6地区が芸能を持ち寄って振物や神楽、三番叟を奉納する

糸井文庫コーナー 10月のテーマ

糸井文庫は糸井仙之助が集めた丹後関連資料（約2200点）です。中でも丹後の伝説を描いた浮世絵が約200点あります。そこで、当館では毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。



にしき 錦 の あき 秋



「東錦晝夜競」 楊洲周延 糸井文庫

あずまにしきちゅうやくらべ ようしゅうかのぶ

10月のテーマは「錦の秋」です。秋が深まり、木々が鮮やかに彩られる季節となりました。時代が移り変わろうとも、紅葉を愛でる精神は変わらず受け継がれてきました。

日本画は、主題となる人物や物語だけでなく、草花の描かれた繊細な背景も魅力の一つです。これらのポイントにご注目いただき、浮世絵に息づく、自然を慈しむ精神を感じ取っていただければ幸いです。

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00（最終入館16:30まで）

今月の休館日

6日（月）・14日（火）・15日（水）・20日（月）・27日（月）

〒624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総合会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★